

# 県知事選！ 鶴田まこみさん健闘！ 122,013票 獲得！

茨城県知事選挙は8月10日告示、27日投票で行われました。結果は自公推薦の大井川和彦氏が497,361票の得票で当選を決め、橋本昌氏は472,743票、鶴田真子美氏は122,013票（有効投票数の11.65%・投票総数1,047,117票）でした。鶴田さんは様々な困難な中、「県民のいのちと暮らしを守る。小さないのちも大切」の声を掲げ、いのち輝く茨城をつくるため、「東海第二原発の廃炉」「財政の使い方をガラリと替え、国内8位の財政力に見合う県民福祉の充実」を訴えましたが、及びませんでした。

## 鶴田まこみさんのメッセージ

「いのち輝くいばらきの会」共同代表の皆様、地域の会の皆様、選挙でお世話になりましたすべての皆様

候補者であった鶴田真子美です。

2017年茨城県知事選では、皆様にひとかたならぬご尽力を賜りまして、心からのお礼を申し上げます。ほんとうにお世話になり、ありがとうございました。

落選は私の不徳の致すところであり、結果を出すには至りませんでしたこと、皆様にお詫び申し上げます。皆様から獅子奮迅の応援を頂きながら、力及ばず申し訳ございませんでした。

でも、新人の私が12万票も取れましたことは、皆様のご尽力のお陰様と思います。

6月末の記者会見から、怒濤のように過ぎていったこの2か月は、私も常に皆様の熱い願い「東海第二原発再稼働を阻止し、県政をよりよいものに変えたい」という想いとともにもありました。その想いの大きな渦の中で、駆け回った県内各地では、皆様のご声援やあたたかなお迎えを一身に受け、とても感動いたしました。告示後は、行く先々の辻ごとにお集まり頂き、ご声援と固い握手でしっかりと私を支えてくださいました。8月の太陽と雨を浴び、この広大な茨城県を宣伝カーで走りながら、各地の皆様のお励ましを賜って、どんなに力づけられたことでしょうか。

そして、皆様の真剣なまなざし。原発をとめよう、と。ひとつひとつの瞳を、私は忘れられません。私も何としても実現させたかったです、原発の廃炉を。でも今、あまりに大きな壁があることを感じています。

今は、皆様の心身のお疲れが案じられます。猛暑のなかでのチラシ配りやポスター貼りは体力を消耗させます。そして電話かけや周囲の方へのお声かけで、どれほど神経をすり減らされてのご尽力を賜ったことでしょうか。また、選挙資金にと、たくさんのカンパを賜りました。尊い皆様のお志に感銘を受けております。そして、

次は、勝つための選挙を目指し、今から準備をしなければと思いません。私に次の言葉を贈って下さった方がおられます。地方議員の大道義知先生です。「勝ったときに負けの原因を作る。負けたときに、次の勝利の因を創る」。

今回、私たち「いのち輝くいばらきの会」の勝利はございませんでしたが、負けたことで、きっと次の勝利の因を創ることができそうです。勝敗の行方はそのときでなく、次の戦に勝ったかどうかを見なければなりません。負けない自分を、負けない「いのち輝く会」を創りましょう。冷静に、敗因を分析しましょう。そして、それを共有しましょう。次には私たち「いのち輝く会」が勝つために、4年後、さらにパワーを増して「いのち輝く会」が戻ってこられるように、もう今から、さらに力をつけていきましょう。みんなで農業や原子力の勉強会をしなければなりませんし、公約を練り直す必要もあります。また、輪を広げ、次の世代、次の候補者たちを育てる「人育て」をしていかねばなりません。皆様、ゆったりとスローに、でも、それぞれにがんばりましょう。私も現場に戻ります。9月からまた大学が始まります。学生たちに公約の精神をひとつひとつ伝えていきます。NPO法人の活動もすでに開始しました。選挙事務所に来た虐待相談がありましたので、動物指導センターに通報し、昨夜は現地につけ付け交渉しました。今週中には被災した多頭飼育のおばあさんの支援に福島に入ります。昨日は動物指導センター長さんに電話し、選挙中になくなってしまった常総野犬シェルターの再建に向けての会議開催をお願いしました。私もこのように、絶対に負けません。今できることを精一杯やって参りたいと思います。そして、皆様とは今後も情報を共有し、連帯して参ります。（民主主義の基本は情報共有と連帯です。）今が、スタートです。この2か月、皆様、ほんとうに、あたたかなご支援をありがとうございました。これからもご指導をよろしくお願い申し上げます。皆様との繋がり、出会いこそ、私の人生の宝です。大きな感謝を皆様に。（皆様から頂いた、茨城の土でできた爽やかなブルーベリーとトマトを食べながら、今、朝を迎えました。今日も暑くなりそうですね。）

【鶴田真子美】



■今回の県知事選にあたって、県平和委員会は臨時の常任理事会・理事会を開催し、論議を尽くして取り組みました。

平和委員会は常任委員会（7/8）、理事会（7/14）を開催し、県平和委員会が取り組んでいる草の根の平和活動と方向性を同じくする鶴田真子美（まこみ）さんを推す「いのち輝く茨城の会」に結集してたたかいました。

いのち輝く会は、茨城の政治を県民本位に変えようと思いで、共産党、新社会党、つくば市民ネットワーク、とりで生活者ネットワーク、緑の党グリーンジャパン、茨城一新会（小沢一郎講演会）等、野党と政治団体が協力・共同して結成された政治団体です。各自治体ごとに「いのち輝く地域の会」を結成して知事選をたたかいました。

歓迎！新入会員のみなさんです。  
よろしくお祈いします。

.....

- \*\* \*\*\* さん（つくば市）
- \*\* \*\*\* さん（水戸市）
- \*\* \*\* さん（水戸市）
- \*\*\* \*\* さん（水戸市）
- \*\* \*\* さん（つくば市）

\*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

**平和新聞** 2017年9月5日（火）  
2147号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

**平和かわら版** 平和新聞茨城版 No. 786  
2017.9/5  
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

## 守谷 「東海第二原発20年稼働延長反対」の意見書 20名余の傍聴者が無言の圧力！全会一致で可決！



守谷平和の会は、5月24日、守谷市議会に対して「東海第二原発の20年延長の申請をしないよう求める意見書」を提出しました。その意見書が都市経済常任委員会に付託されましたが、委員会では提出した守谷平和の会の意見も聞かず、「継続審議」として9月議会で採択するとなりました。

### 継続審議を跳ね返した取り組み

平和の会では、「それでは遅すぎるので、我々の意見、主張を聞いてほしい」と、常任委員会に申し立てました。話し合いの結果、委員会は、7月27日に「一般会議」として平和の会が意見を述べる場を設けることになりました。平和の会は当日の10時から2時間、東海第二原発の危険性や防潮堤について、事実に基づいて理路整然と説明を行いました。しかし川名委員長は9月議会で採決すると発言し、守谷平和の会は、この意見書は緊急をようするもので、早急に委員会を持つよう強く申し入れました。

その結果8月8日（火）に委員会を開催され、平和の会から5名と佐藤弘子議員が傍聴。各委員から下記の発言がなされ、採決の結果、6名の委員の全員一致で採択されました。

### 常任委員会で、議員の発言

- ◆20年延長を認めると、他の原発に対して前例をつくることになる。
- ◆委員会内研修で福島原発の視察を行ってきたが、原発事故の恐ろしさを考えると日本における東海第二原発の再稼働には反対である。守谷市にとっても甚大な影響が考えられ、そこまでして再稼働する必要がない。
- ◆平成24年に東海第二原発を廃炉にすべきとしました。現在もその姿勢は変わらず、住民、市民の安全を考えると、当然20年延長しないという考えである。
- ◆原発の恩恵を受けてきたことは事実であるが、過去を反省する必要もある。40年という規制があるにも関わらず、老朽化した原発施設を再稼働することはナンセンスである。

### 臨時議会の開催を実現！

### 議員には個別に要請をおこなう！

守谷市議会が8月18日に臨時議会を開くということで、守谷平

和の会は緊急役員会を行いました。それは、常任委員会で賛成多数で採択されたにもかかわらず、臨時議会で否決されることがないようにするためです。準備した意見書採択を願う資料を持って、8月16日・17日、各議員に対して個別に面会を求めて訴えました。会えない議員には資料をポストに入れました。事実に基づき、個別の訴えることが大きな力を生み出しました。

### 守谷平和の会が呼びかけた、20名余の傍聴者が見守るなかで・・・

8月臨時議会が予定通り8月18日（金）、10時より開催されました。この臨時議会は他の案件もありましたが、柱は守谷平和の会が提出していた「東海第二原発の20年稼働延長をしないよう求める意見書」について、採択を問うものでした。

臨時議会は総務委員会の審議が長引き、途中から暫時休憩に入り、午後1時に再開されました。都市経済常任委員会の川名委員長が提案理由を報告し、採決に入りました。傍聴席には、守谷平和の会が呼びかけた20名余の皆さんが見守っていました。午後1時28分、全会一致で可決されました。傍聴席からの圧力も伝わったようです。そして同日付で議会事務局より、茨城県知事と東海村村長に郵送されました。

8月18日、守谷市議会（臨時議会）で、「守谷平和の会」が提出した、「日本原電がまもなく40年を迎える東海第二原発延長申請をしないよう求める意見書提出」に関する陳情書が全会一致で採択されました。この陳情書は5月議会の都市経済常任委員会で審議され、議論の結果、さらに調査・研究が必要とし、継続審議としたうえで、7月27日に一般会議（都市経済常任委員会と守谷平和の会との話し合い）を持つことになりました。一般会議で守谷平和の会から9名の会員が参加し、配布した資料を基に老朽化した原発の危険性や30km圏に100万の人口有する避難計画の困難さ、事故の影響は首都圏まで及ぶことなどを役割を分担しながら訴えました。常任委員会は福島第二原発に視察に行ってきたとの報告がされました。8月8日の都市経済常任委員会で全委員の賛成で「陳情」が採択され、本会議では全会一致で可決されました。【守谷平和の会：嘉藤田 孝】

## 人間のくさり1100人！

## 東海第二原発沿いを包囲

## 8.26原発いらない



## 茨城アクションに結集！

8月26日（土）、13時20分から東海村阿漕が浦公園で「8.26原発いらない いばらきアクション」を開催しました。実行委員会を代表して小川仙月さんが「東海第二原発の20年稼働延長を止めよう」と開会挨拶。次いで地元東海村から大川さん、福島からの避難者の方、最後に村上元東海村村長が「危険な東海原発の再稼働は絶対に許せない」と訴えました。その後ジャーナリスト・ルポライターの鎌田慧さんが「原発推進の安倍政権を追求し、打倒を」と呼びかけました。

集会は2時に終了。その後、参加者は阿字ヶ浦公園から、東海第二原発を囲む歩道に移動し、東海第二原発の沿道を人間のくさり（ヒューマンチェーン）で包囲しました。参加者は互いに手をつなぎ、「東海第二 再稼働反対」「老朽原発動かすな」など、コールを上げました。

参加者は東京や埼玉、千葉などから大型バスを仕立てて参加するなど、県内外から1100人以上の参加者がありました。

県平和委員会は駐車場担当が6名、「ヒューマンチェーン」の先導者として5人、合わせて11人のスタッフを送り出しました。

## 「東海第二原発稼働20年延長反対」の意見書採択

「東海第二原発稼働20年延長反対の請願及び意見書」が採択されている自治体は

### ■2017年3月議会、またはそれ以前に採択

・阿見町 牛久市 鹿嶋市 神栖市 五霞町 境町 下妻市 つくばみらい市 土浦市

・利根町 取手市（以上採択） 常陸大宮市（主旨採択） 12自治体

### ■2017年6月議会で採択

・美浦村 八千代町 茨城町 龍ヶ崎市（通算16自治体）

### ■2017年8月臨時議会で採択

・守谷市（全会一致）（通算17自治体）